

第12回

気象サイエンスカフェ

気象学会九州支部

21世紀末（2081-2100年の平均）の気温の変化の予測（IPCC第5次報告書より）



2021年 2月14日(日) 13:00 ~ 15:00

参加費無料（事前申し込みとインターネット接続環境が必要）

Zoom（九州・山口県在住者限定 先着50名様）YouTube（無制限）によるオンライン開催

話題「気候変動のリスクと社会の大転換」

日本はいま寒冬だが、実は昨年の世界平均気温は史上最高を記録した。産業革命前から1.2℃上昇に達し、世界が合意したパリ協定の努力目標1.5℃に刻一刻と近づいている。そしてついに昨年10月、菅総理が日本も2050年に温室効果ガスの排出実質ゼロを目指すことを宣言した。人類に迫る気候危機とは何なのか。そして社会に何が求められるのかをお話する。

講師／江守 正多（国立環境研究所 地球環境研究センター／副センター長）

1970年神奈川県生まれ。1997年に東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程にて博士号（学術）を取得後、国立環境研究所に入所。2018年より地球環境研究センター副センター長。社会対話・協働推進オフィス（Twitter @taiwa_kankyo）代表。専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第5次および第6次評価報告書 主執筆者。著書に「異常気象と人類の選択」「地球温暖化の予測は『正しい』か？」、共著書に「地球温暖化はどれくらい『怖い』か？」「温暖化論のホンネ」等。



ファシリテーター／栗原めぐみ（RKK熊本放送 気象予報士/気象学会九州支部理事）

神戸商船大学（現 神戸大学）大学院修了後、就職した会社で大形船用ディーゼル機関の開発試験等を担当、排気ガスの成分を分析する中、気象学に興味を持つ。退職後、気象学およびボイストレーニングの勉強をすること1年半、気象予報士の資格を取得。2013年からRKK熊本放送キャスター、現在、「夕方LIVEゲツキン！」の気象コーナーを担当、趣味は、マラソン、トレイルラン、トライアスロン。



お申込

期限：1月20日～2月10日（〆切）

方法：右のQRコードか、[フォームで申し込み](http://msj-kyushu.jp/) <http://msj-kyushu.jp/>

条件：Zoomに接続可能なPCと接続環境が必要



お問い合わせ

日本気象学会九州支部事務局（福岡管区气象台防災調査課内）

TEL 092-725-3614 FAX092-725-3613

Mail : info@msj-kyushu.jp（@は半角文字に置き換えてください）

お申込み方法

第12回気象サイエンスカフェは、全国から無料で視聴可能です。双方向で質問等が可能なZoom接続については、九州・山口県内にお住まいの方々へ先着50名様限定でご案内致します。その他の地域にお住まいの方々（無制限）には、YouTubeLive配信（視聴のみ）をご案内いたします。

後日、接続に必要な情報を入力頂いたメールアドレス宛にご連絡させていただきます。参加申し込み直後に自動返信の機能はございませんので、メールアドレスはお間違えの無いようご記入をお願いします。

なお、終了後にアンケートをご案内いたしますので、合わせてご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。

- (1) 登録フォームに必須事項を記入して登録。（締め切りは2月10日）
- (2) お申し込みは、学会ホームページ (<http://msj-kyushu.jp/>) からイベント、気象サイエンスカフェ [お申し込みフォーム](#) へと進むか、スマートフォンでQRコードを読み取り、必要事項をご入力下さい。
- (3) 気象学会九州支部 (info@msj-kyushu.jp) からご登録頂いたメールアドレスへ2月12日までに接続に必要な情報をご連絡致します。
- (4) 当日は、メールのご案内に従い、開始時刻までに接続をお願いします。



日本気象学会九州支部事務局（福岡管区气象台防災調査課内）

TEL 092-725-3614 FAX092-725-3613

Mail : info@msj-kyushu.jp (@は半角文字に置き換えてください)